（出航前検査記録は裏面）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 年月日 | ／　／ | 便数 | 便 |
| 船名 |  | 業務主任者 |  |
| 乗船した船長 |  | 乗船した従業者 |  |

**アルコール等検査記録**※酒気帯び有無、健康状態の確認

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 氏名 | 検査日時 | 検査場所  (営業所、遊漁船等) | ①酒気帯びの有無 | ②アルコール検査器の検査結果(数値) | ③業務の実行可否 | 備考 |
|  | ／  ： |  |  |  |  |  |
|  | ／  ： |  |  |  |  |  |
|  | ／  ： |  |  |  |  |  |

①顔色、呼気の臭い、応答の状況により酒気帯びの有無(飲酒等により正常な業務ができない状態は不可）

②アルコール検査器による検査(呼気１リットル中のアルコール濃度が０．１５ｍｇ以上の場合は不可)

③健康状態（疾病、疲労、睡眠不足など）の確認（安全に業務を遂行することができないおそれがある場合は不可）

**乗務記録**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 開始時刻 | ： | 終了時刻 | ： | 利用者の数 | 人 |
| 開始場所  （終了場所） | 港 | 案内した漁場の位置 |  | | |
| 気象及び海象等の状況 | | 例：晴天北西の風１ｍ及び波高０．５ｍ | | | |
| 利用者が採捕した主な水産動植物 | |  | | | |
| 重大な事故が発生した場合には、その概要及び原因 | |  | | | |
| 重大事故ではない事故等（海難その他の異常の事態）が発生した場合には、その概要及び原因 | |  | | | |
| 気象若しくは海象等の状況が悪化した場合又は海難その他の異常の事態が発生した場合には、連絡責任者に連絡した旨及び内容 | | 例：強風が確認されたため連絡責任者に連絡した | | | |
| 遊漁船業者に対し、出航判断に関する意見、利用者の安全の確保及び利益の保護並びに漁場の安定的な利用関係の確保に関する意見をした場合には、その旨及び内容 | | 例：採捕禁止期間に該当している水産動植物についての注意喚起 | | | |
| その他 | |  | | | |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 確認日 |  | 確認者氏名（業務主任者） |  |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 確認項目 | | 確認時に✓ |
| 船体の検査 | | |
| １ | 船体に亀裂や破口はないか。 |  |
| ２ | エンジンルームや船底のビルジ（汚水）の量は普段より多くないか。 |  |
| ３ | 航海計画に見合った燃料は十分にあるか。 |  |
| エンジンの検査 | | |
| ４ | 燃料コック（バルブ）は開いているか。  燃料フィルターやセジメンター（油水分離器）にゴミや水分の混入はないか。 |  |
| ５ | エンジンオイル（潤滑油）の量は十分か。 |  |
| ６ | 冷却清水の量は十分か。 |  |
| ７ | バッテリーの液量は十分か。また、ターミナルは十分締め付けられているか。  バッテリーの耐用年数は切れていないか。 |  |
| 救命設備等その他の検査 | | |
| ８ | 救命胴衣を着用したか。利用者に救命胴衣を着用させたか。 |  |
| ９ | 通信手段の充電量、予備バッテリーを確認したか。 |  |
| 10 | 気象・海象情報、水路情報は確認したか。 |  |
| 11 | 船の種類や航行区域等に応じて国土交通省が定める要件に適合した通信設備及び救命設備を搭載しているか。 |  |
| 12 | 落水者救助用の梯子は使用可能か。 |  |
| 13 | 瀬渡しの際に使用するステップ等は搭載しているか。 |  |
| 14 | 釣具・漁具等が安全な状態に設置・格納されているか。 |  |
| エンジン始動後のエンジンの状態確認 | | |
| 15 | 回転計、冷却水温度計、油圧計、電流計、電圧計は正常値を指しているか。 |  |
| 16 | 冷却用の海水は通常どおりの量や勢いで排出されているか。 |  |
| 17 | エンジンから異常な音やにおいは出ていないか。 |  |
| 備考 | （異常時の対応等） | |